

自衛隊装備品による市中パレード in 加西を支援しました

隊友会東播支部 石田支部長他 8 名の会員は、青野原駐屯地創立 50 周年記念行事の前日に当たる 5 月 30 日（土）12 時 30 分から、青野原駐屯地連合会会長兼ねて加西市防衛協会会長 黒田秀一氏が自衛隊に要望を上げ、加西市が企画・運営した兵庫県内初となる自衛隊車両による市中パレードの警備支援を行った。

石田支部長は来賓としての参加となり、招待席から市中パレードを見守られました。

パレードは、晴天に恵まれ多数の来賓、来訪者が見守る中、主催者である青野原駐屯地連合会会長 黒田秀一氏の式辞から始まり、続いて観閲官 青野原駐屯地司令 安田 1 佐、来賓者代表 加西市長 高橋晴彦氏からの式辞を頂き、会場のお客様お待ちかねの観閲行進へと移行しました。

東播支部の警備区域は、観閲行進の出発地点付近を任せられ、8 名の会員は準備の段階から侵入経路の確認、危険地域の見積り、侵入予防用のカラーコーンの設置と万全の態勢でパレード開始を待ち構えました。さすがに、県内初の市中パレードとあって、瞬く間にパレード会場には人だかりができ、警備の重要性を再認識しつつ警戒任務にあたりました。

警備支援前のひと時



警備支援準備中の会員達



14時過ぎからパレードが始まると、係員の整齊な誘導・運営により順調に進み、大きな事故もなく終了しました。約20分間で28台の自衛隊車両のパレードでしたが来訪されたお客様も満足の様子で、市中パレードは大盛会に終わりました。

市中パレード準備完了



兵庫県内初となる 市中パレードを披露する自衛隊車両



観閲行進終了後は、音楽隊の演奏が行われ来訪者の方々は音楽隊の演奏に聞き入っていました。

また、式典終了後は、イベントとして鵜野飛行場跡地において「装備品展示」が開催され会場には多くの見学者が集まりました。駐車待ちの車両も多く、道路渋滞が発生していました。やはり、自衛隊装備品への関心は高く装備品展示の担当者も熱心に見学者からの質問に答えていました。

姫路海軍航空隊鵜野飛行場跡地での装備品展示風景



威風堂々 中SAM発射機



パレード支援終了後の集合写真



支援要員 8 名は、観閲行進終了後、使用品の撤収作業、借用品の返納を終え、健康状態に異常が無いことを確認して午後 3 時頃に任務終了となり解散しました。